

2017年3月期 決算説明会資料



愛光電気株式会社

代表取締役社長 近藤 保

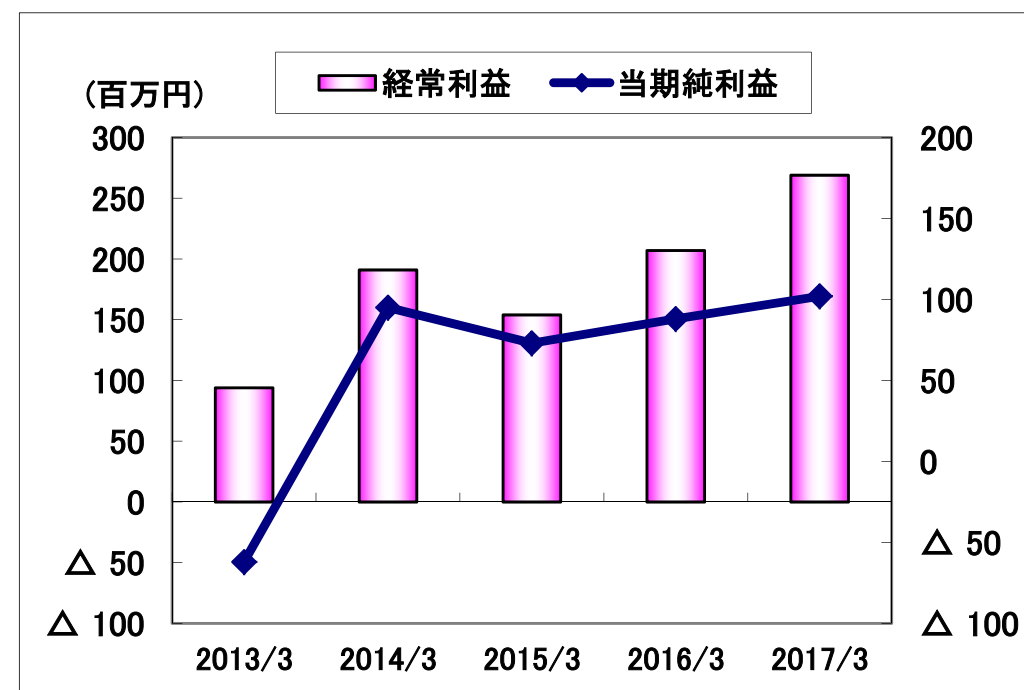
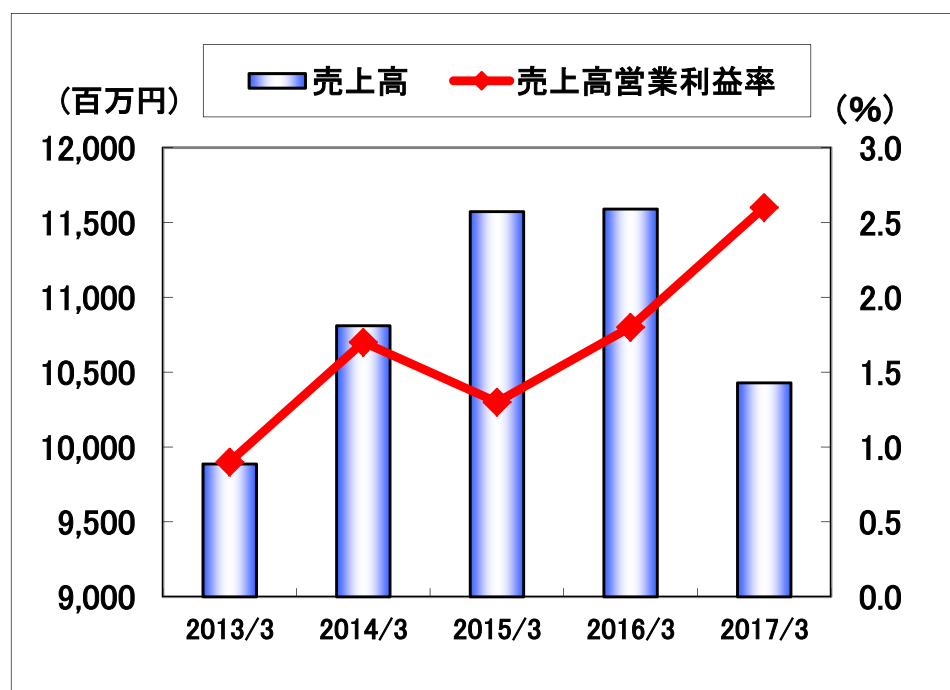
2017年6月16日

2017年3月期 決算業績説明会

業績推移

(単位:百万円)

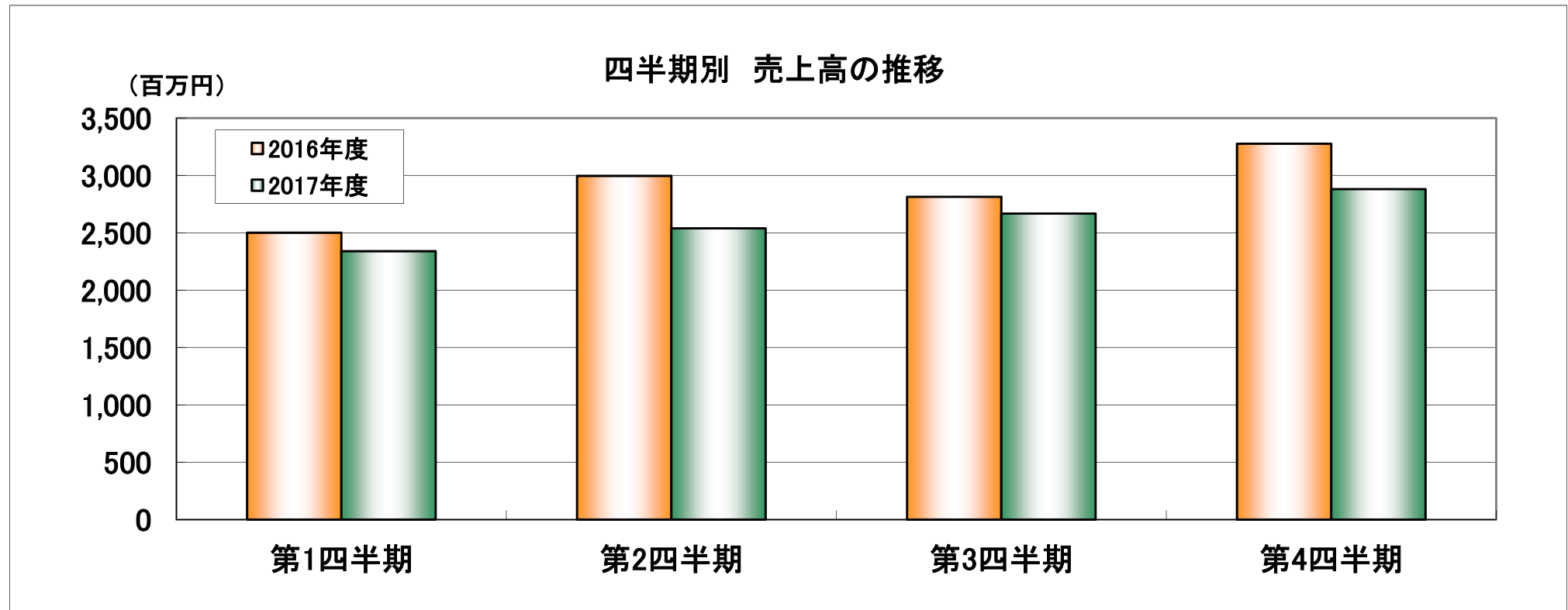
	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	増減額	前期比
売上高	9,887	10,811	11,573	11,590	10,429	△ 1,160	△ 10.0%
営業利益	92	186	150	204	266	61	30.1%
売上高営業利益率	0.9%	1.7%	1.3%	1.8%	2.6%		
経常利益	94	191	154	207	269	61	29.6%
売上高経常利益率	1.0%	1.8%	1.3%	1.8%	2.6%		
当期純利益	△ 62	95	73	88	102	14	16.4%
売上高当期純利益率	△ 0.6%	0.9%	0.6%	0.8%	1.0%		



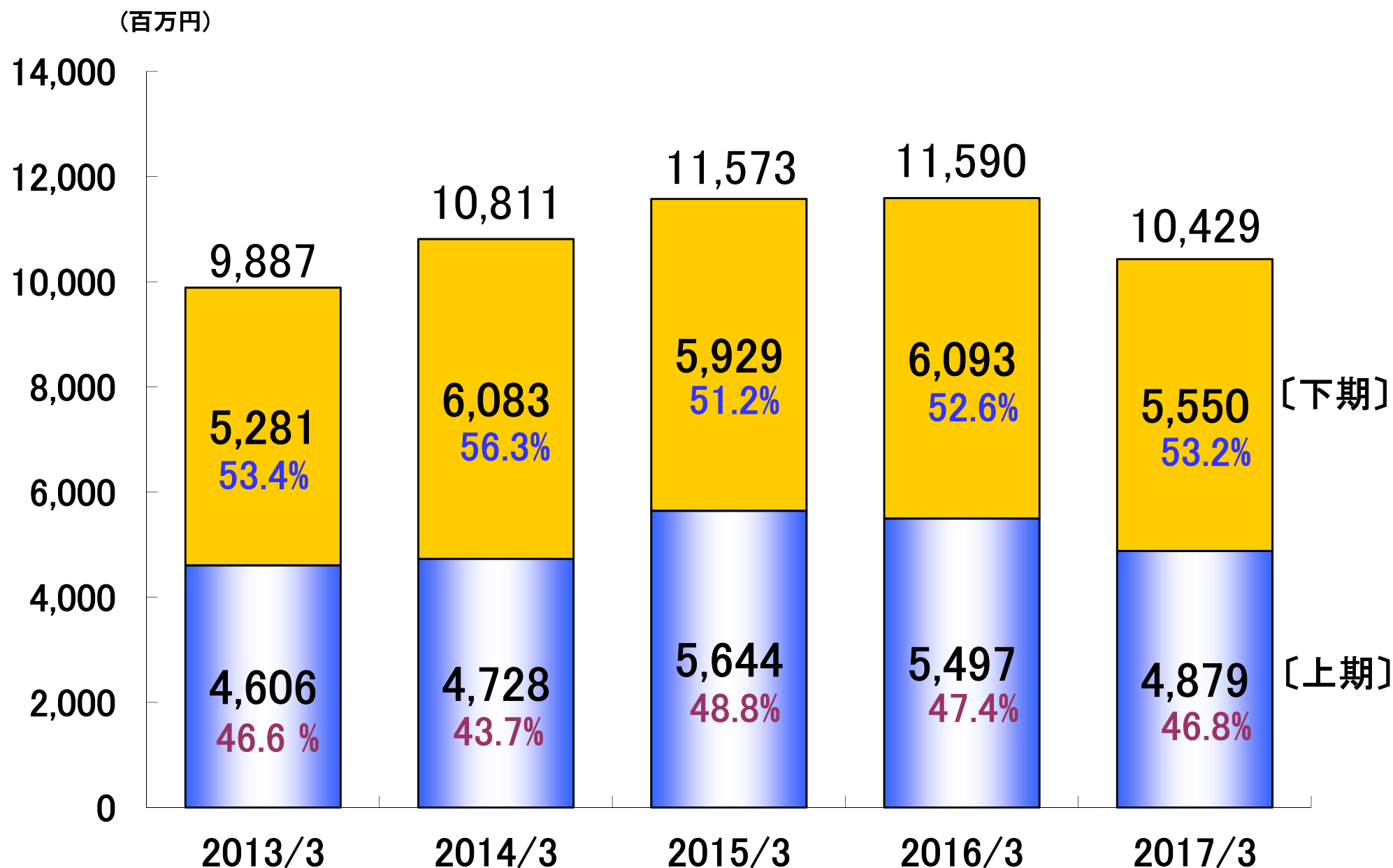
四半期比較(前期比)

(単位:百万円)

	2016年度 四半期別実績				2017年度 四半期別実績			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	2,501	2,996	2,814	3,277	2,340	2,539	2,668	2,881
営業利益	38	69	42	55	41	53	73	98
経常利益	37	70	42	56	41	54	73	100
当期純利益	4	41	25	17	13	33	49	7



売上高の実績推移(半期別)

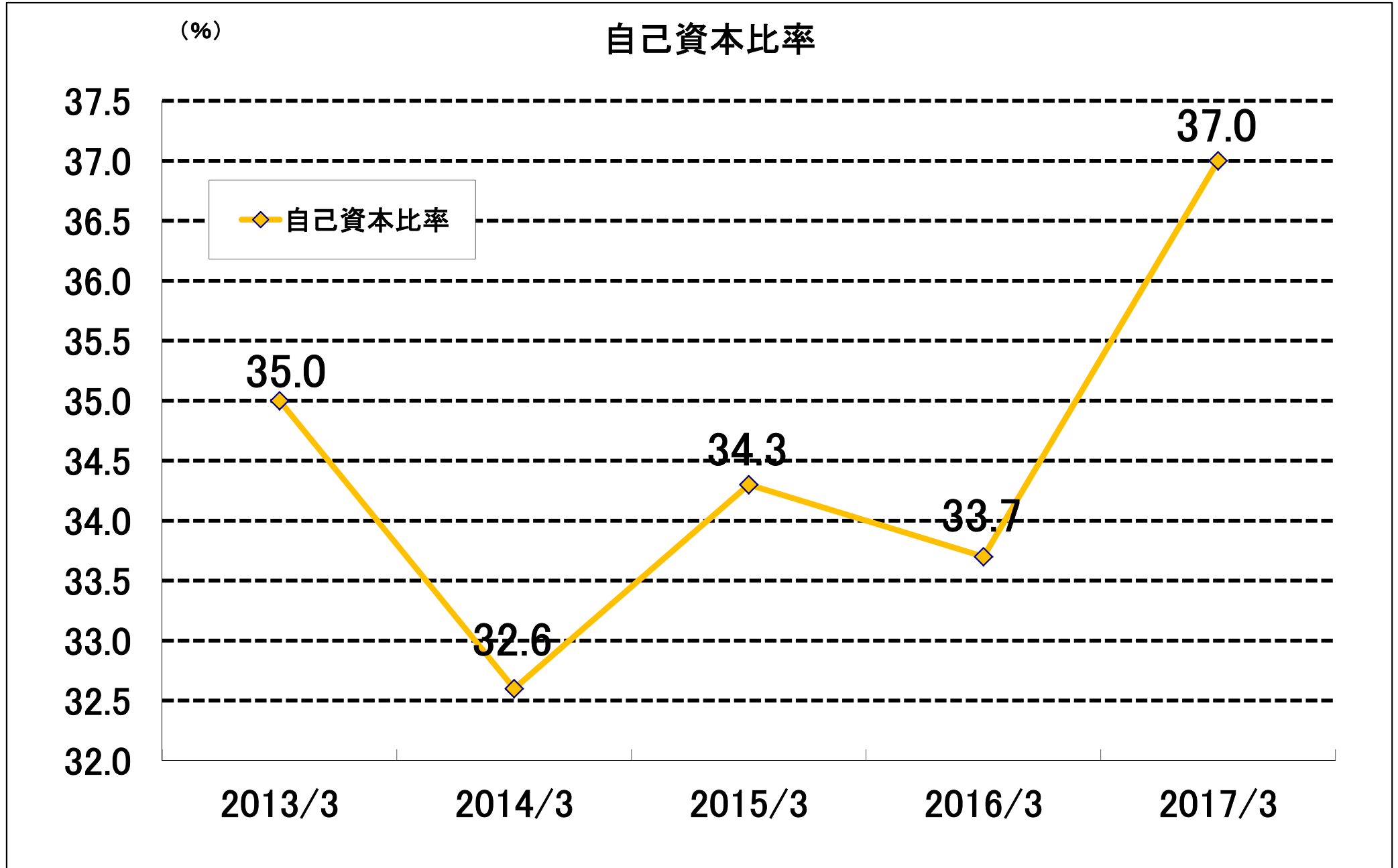


比較貸借対照表

(単位:百万円)

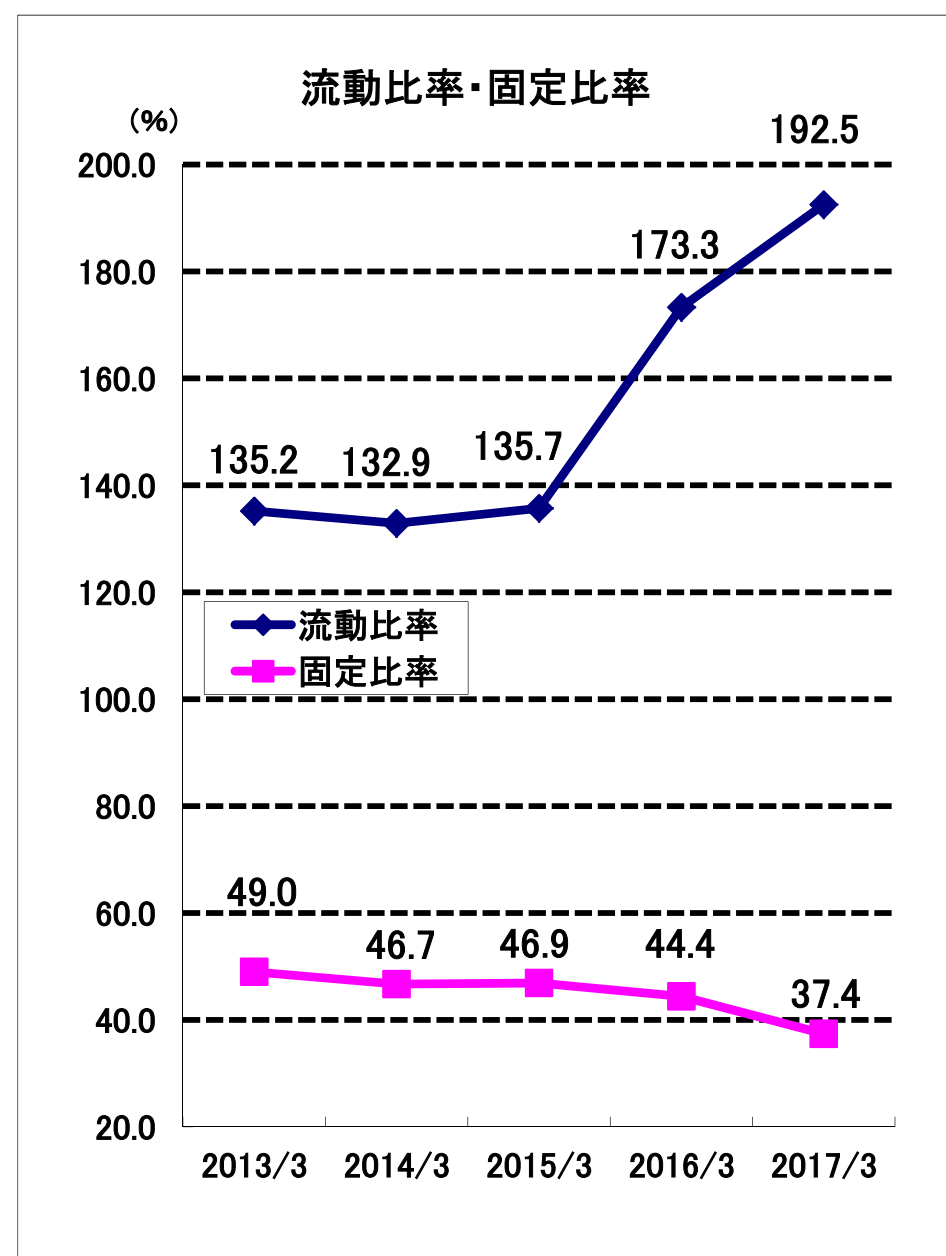
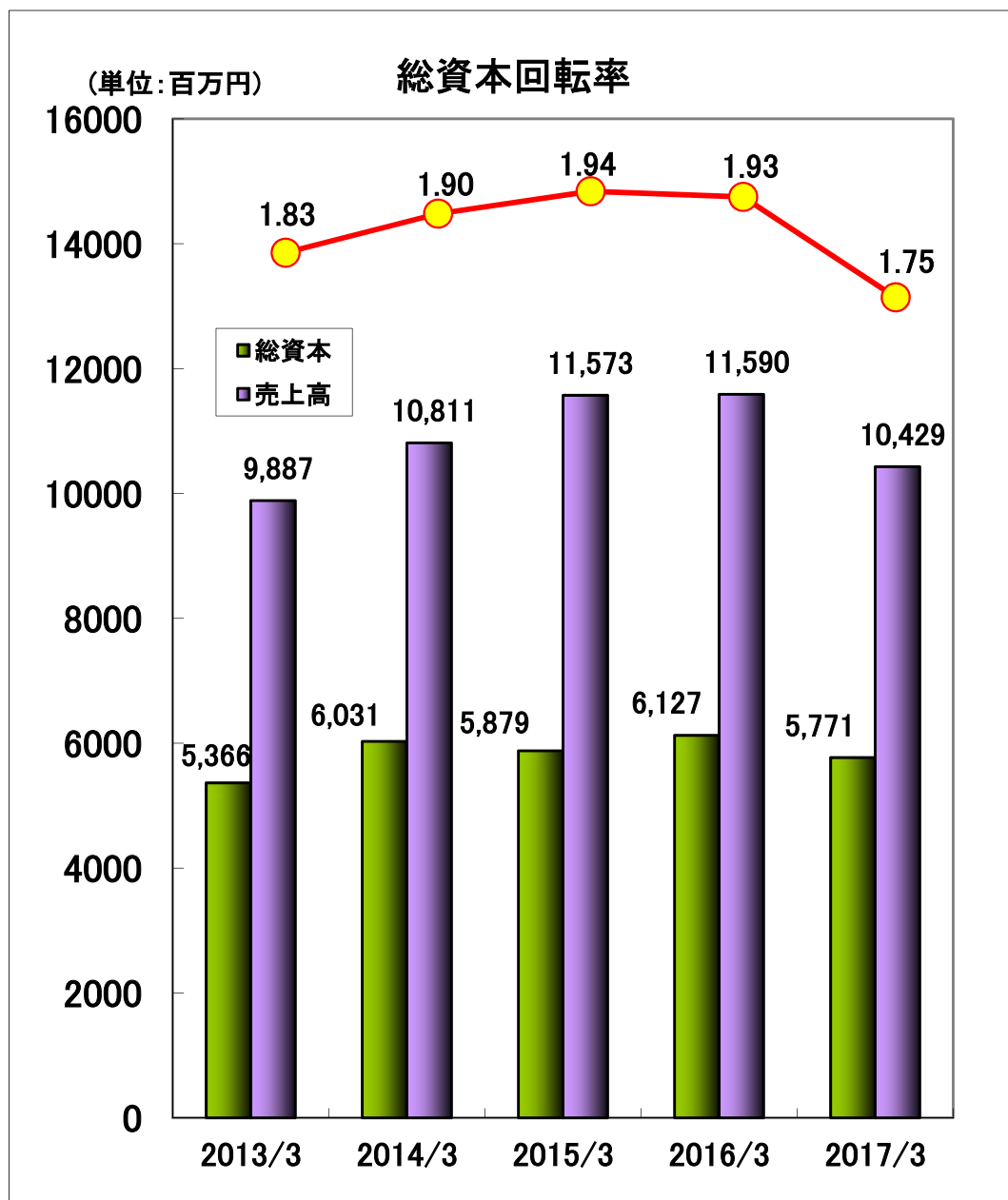
	2015/3	構成比(%)	2016/3	構成比(%)	2017/3	構成比(%)
流動資産	4,934	83.9	5,210	85.0	4,972	86.2
固定資産	944	16.1	916	15.0	798	13.8
(資産の部)計	5,879	100.0	6,127	100.0	5,771	100.0
流動負債	3,637	61.9	3,006	49.1	2,582	44.8
固定負債	227	3.9	1056	17.2	1,051	18.2
(負債の部)計	3,865	65.8	4,063	66.3	3,634	63.0
資本金	611	10.4	611	10.0	611	10.6
資本剰余金	691	11.8	691	11.3	691	12.0
利益剰余金	695	11.8	753	12.3	825	14.3
自己株式	△ 9	△ 0.2	△ 10	△ 0.2	△ 10	△ 0.2
その他有価証券 評価差額金	24	0.4	17	0.3	18	0.3
(純資産の部)計	2,013	34.2	2,063	33.7	2,137	37.0
(負債・純資産)計	5,879	100.0	6,127	100.0	5,771	100.0

自己資本比率



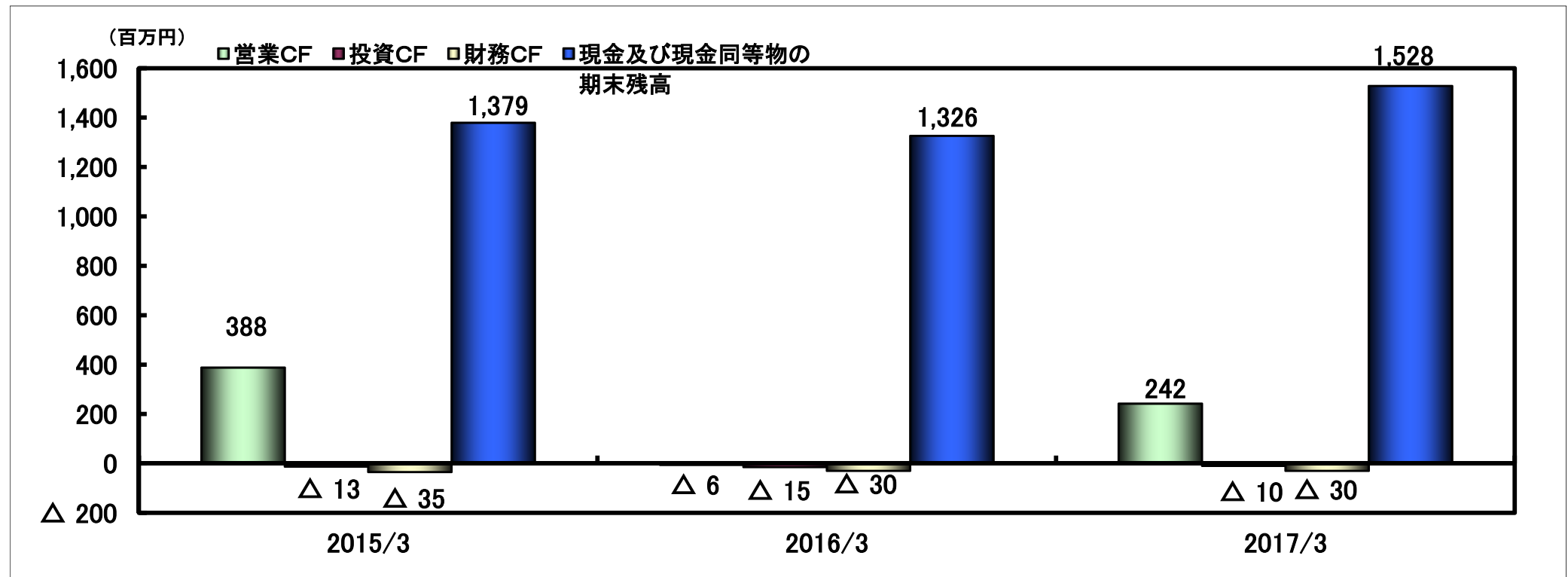
総資本回転率

流動比率・固定比率



キャッシュフロー計算書

	2015/3	2016/3	2017/3	増減	当期の主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	388	△ 6	242	248	売上債権の減少による資金回収等
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 13	△ 15	△ 10	4	本社および営業所の設備改修等
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 35	△ 30	△ 30	0	配当金の支払
現金及び現金同等物の 期末残高	1,379	1,326	1,528	201	



2018年3月期 業績予想

2018年3月期 業績予想

(単位:百万円)

	2017年 第2四半期 実績	2018年 第2四半期 業績予想	伸長率	2017年3月期 実績	2018年3月期 業績予想	伸長率
売上高	4,879	5,777	118.4%	10,429	11,500	110.3%
営業利益	94	133	141.3%	266	250	93.8%
経常利益	95	134	140.1%	269	250	92.9%
当期純利益	46	66	144.1%	102	120	116.6%

新10年ビジョン

AIKO NEW WING PLAN II

2013(平成25)年度～2022(平成34)年度

電気の総合商社として
『時代を先取りする企業を目指す』



※ 問屋から商社へ『電気の総合商社』を目指したい。

AIKO NEW WING PLAN II

「新10年ビジョン」メインテーマ

『電気の総合商社』として時代を先取りする企業を目指す。

- (1) 既存のビジネスモデルを再定義し、将来拡大が見込まれる潜在的な需要や、現在見過ごされている新市場を先取りしてビジネスに繋げて行く先駆的な企業の実現を目指す。
- (2) 将来性があると判断される企業や新商材に対して、先入観(固定概念)に捉われずに、取り扱いの是非を協議、もしくは取引を検討し、ビジネスチャンスに繋げて行く。
- (3) 創業時に立ち返り、『多くの仕入れ先と多くの得意先』を得、中立性を維持することで自主独立による三位一体の使命感経営を推進して行く。

新10年ビジョン目標

地域売上NO.1

全社営業利益
黒字化

雇用形態・労働形態の
多様化への対応

当社が目指す
人財像

新10年ビジョン 2013(平成25)年度～2022(平成34)年度

1. 地域売上No1を目指す
 - ・営業所単位で市場占有率No1
 - ・業容の拡大と発展
2. 全社営業利益黒字化
 - ・全営業所営業利益黒字化
3. 雇用形態・労働形態の多様化への対応
4. 人財像
 - ・プロフェッショナルを目指す
 - ・将来を見据えて「会社の財産(人脈・信頼関係の形成、知識・経験の蓄積)」の増大を指向する

経営戦略

1. 継続的に利益を得られる企業となる

(市場の変化・経営環境変化を先取りする組織運営)

- ① 「技術の愛光電気」の積極推進
(営業力の強化とセールスエンジニアの育成)
- ② 新市場・新商材の探求(「創エネ・蓄エネ・省エネ」ビジネスの強化)
- ③ 有力な販売チャネルの拡充・拡大
- ④ 新たなビジネスモデルの創出
- ⑤ 経営資源の集中と選択
- ⑥ 付加価値の創出を目的とした関連協力企業への事業投資
(M&A、アライアンス含む)
- ⑦ 競争優位のポジションを確保するための仕入政策の立案・実施
- ⑧ ローコストオペレーション体制の構築
- ⑨ 不良債権の撲滅化の推進
- ⑩ IT化のさらなる推進

2017年度(59期) 重点戦略

2017年度(第59期)重点戦略

「技術の愛光電気」を目指し、専門商社としての広範な知識と経験を通じて社会に貢献し、企業価値を高める中で企業成長の道を確認して行く。

- 新たな価値の創出を目指し、新商材・新ビジネス等、新たなチャレンジの実施
- 販売チャネルの拡大・新たな販売ネットワークの構築
- 徹底的なローコストオペレーションの推進
- 経営資源を集約することで、生産性の向上を図る

〈参考資料〉

企業プロフィール 経営理念・ビジョン

プロフィール

- 会社名 : 愛光電気株式会社【 AIKO Corporation 】
- 本社所在地 : 神奈川県小田原市西大友205-2
- 代表者 : 代表取締役社長 近藤 保
- 資本金 : 6億1,165万円(JASDAQ上場:証券コード 9909)
- 創 業 : 1953年(昭和28年)11月8日
- 設 立 : 1959年(昭和34年)10月8日
- 発行済株式数 : 4,411,000株
- 社員数 : 156名 (2017年3月20日 現在)
- 株主数 : 497名 (2017年3月20日 現在)
- 事業内容 : 電気製品、機械器具、資材の販売および修理、電気機械、器具取付工事の設計および 施工を主な事業とし、これに附帯する一切の業務

拠点ネットワーク

神奈川県西営業部

- 小田原南営業所
- 小田原北営業所
- 平塚営業所
- 厚木営業所

神奈川県東営業部

- 横須賀営業所
- 藤沢営業所

東静岡営業部

- 沼津営業所
- 伊東営業所
- 下田営業所

東京営業部

- 品川営業所

京浜営業部

- 横浜営業所
- 特販営業所

制御機器営業部

- 藤沢制御機器営業所
- 厚木制御機器営業所

環境事業営業部

- 営業一課

交通営業部

- 東京営業所

小田原商品センター



小田原本社ビル



取扱主要品目

取扱商品分類	主要品目
照明器具類	照明器具(住宅用・施設用・非常用・店舗用) 電球・蛍光灯・LEDランプ・ハロゲン電球・水銀灯・点灯管
電線・パイプ類	高・低圧電力ケーブル・光ケーブル・LANケーブル・合成ゴム電線 警報用電線・耐熱用電線・耐火用電線 鋼管電線管・塩化ビニール電線管・各種電線管付属品・ケーブルラック
開閉器・盤・制御機器類	分電盤・受配電機器・高圧受電設備・ブレーカー 制御機器(FA関連機器・シーケンサ・インバーター)
家電・住設・弱电機器類	家電製品・住宅設備機器・通信機器・OA機器・音響機器 防災セキュリティ・ビル監視設備・太陽光発電システム・蓄電池
その他	配線器具・配線材料・架線材料・碍子・電柱・鋼管ポール・避雷針 工具・計測機器

照明器具



電線



電線管・付属品



盤



制御機器



住宅設備



配線器具



経営理念

『愛光電気株式会社は、電気機器電設資材総合商社として社会への貢献、企業の永続、社員の幸せの三つを調和させ、お客様、仕入先、愛光電気株式会社の三者が共に生成発展する**三位一体の使命感経営**を実践し続けます。』

《『電気の総合商社』として時代を先取りする企業を目指す。》

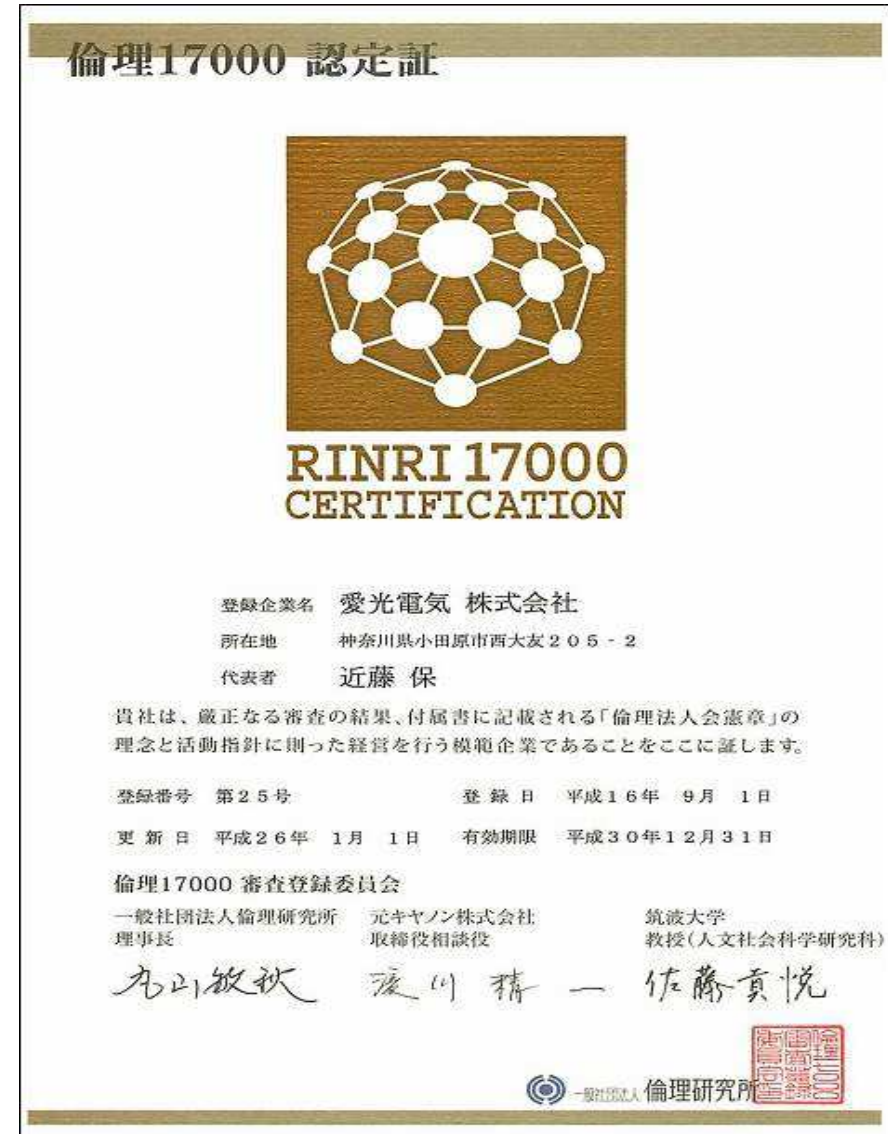


当社経営の礎

「社団法人倫理研究所」のライセンス認定企業プログラム『倫理 17000』に、全国4万社の会員企業の中から53社が認定され、愛光電気株式会社もその中の一社（第25号）として認定されています。（2004年9月1日交付）

倫理とは人間を幸福に導き、平和で豊かな社会を築く基本であり、道徳を超える生きた生活法則と捉えています。1974年（S.49）以来、社員全員が倫理研修に取り組み、その実践を通して人間社会を幸福にするものとして社員一人一人に深く浸透しています。

その高い倫理観は、ビジネスパートナーからの評価も大変高く、コンプライアンスをはじめ、愛光電気の経営の大きな礎となっています。



お知らせ

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問合せ

愛光電気株式会社
経営企画室 IR担当
TEL : 0465-37-2112
FAX : 0465-37-2125
E-Mail : ir@aiko-denki.co.jp

